

1989
12
No.389

広報

入善町

夢をくださいサン

水キラキラ
町いきいき入

●発行／入善町役場 ☎939-06 富山県下新川郡入善町入膳3255 ☎0765(72)1100 FAX 0765(74)0067 ●編集／総務課



■町のイメージアップ作戦

RART. 20 “海の幸、

浜の活気がそのまま町の活力を生み出しそう…。それにしても、入善で獲れるさかなはおいしいですね。種類の豊富さもさることながら、荒波にもまれて育つ活きの良さは天下一品。最近では“育てる漁業、”にも力を入れ「入善ワカメ」などの特産化も図っています。これからの季節は海の幸をふんだんに盛り込んだ“キトキト鍋、”なんていかがでしょうか。

青春
したいから

受験だけが
すべてじゃないよ



▲「今、悩んでいることは何ですか」と聞かれて、少しとまどい顔。

高校生活——。希望を持って入学したまではよかったけれど中学校の時と違って勉強に追いまわられて、自分を見失ってしまっている人も多いのではないだろうか。

今月のテーマは「高校生活」。入善高校2年生の牧野仁志君と朴木浩美さんがリポーターとして高校生生の声を拾ってくれました。どんな高校生活を送っていいのかな、ちよつとしたアドバイスになればいいのですが……。

期待と不安

有意義な3年間を送るために……

「もし、願いがかなうならば、人生の終りの10年と交換してもいいから、高校の3年間をもう一度過ごしたい」。これは、ある高校を卒業した知人が僕に言った言葉です。しかし、そんなことを言われても、高校生活のまっただ中にいる自分には、どんなことかよく分かりませんでした。そう言う、「どんなことを自分ができる最高の努力をしていけば、後悔することはないだろう」と彼は僕に言いま

した。——（入善高等学校・黒扇NO・34 大井博徳君の作文から抜粋）
高校をすでに卒業した人は「なるほどなあ」と思われたかもしれませんが、3年間を有意義に過ごしたいと思う反面、受験勉強に追われて授業についていけなくなったり、自分の進路に不安を覚えたりして、ただ何となく高校生活を送ってしまう生徒も多いのではないのでしょうか。

分かるかな？ 入善弁 お年寄りには懐しく、若い人は首をひねるかもしれない入善弁。さて、今月はどんな「ことば」が登場するやら……。



高校生の悩み

多いのは

成績と進路

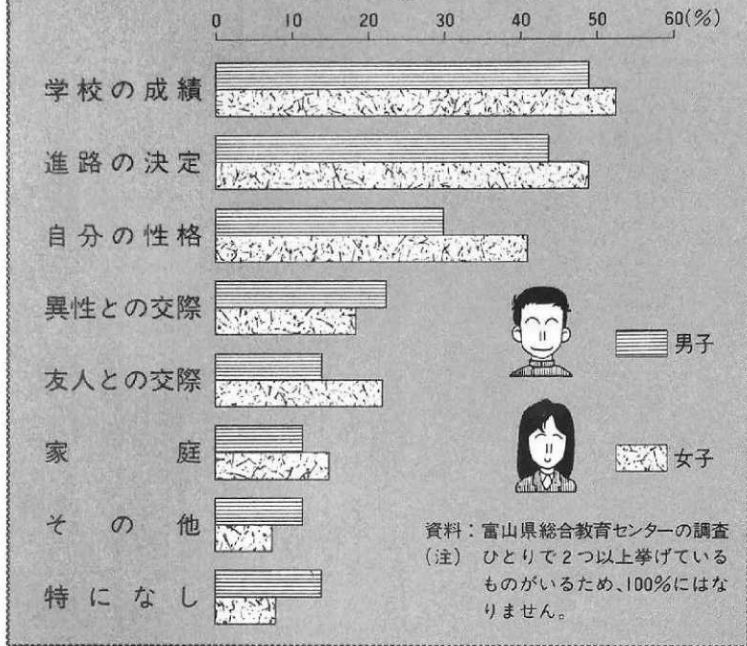
表1は、富山県内の高校生が抱える悩みについてアンケートした結果です。予想する以上に学校の成績、進路、自分の性格などで悩んでいる生徒が多いことが分かります。リポーター役を引き受けてく

れた入善高校新聞部の牧野君と生徒会の朴木さん。今どんな悩みを抱えているのか。校内を回って60人に直撃インタビューしてくれました。集めた悩みの中から多いものをいくつか拾ってみると……

■「勉強で悩んでいない高校生はいないと思います。テスト潰けになっていて、クラブ活動どころではないです」(二年・男)

子
 ■「大学へは行きたいけれど、親が県外の大学に行くなと言ってしまうので、とっても悩んでいます」(三年・女子)
 ■「とにかく授業が難しい。テストの結果だけが優先して、自分の進路などは二の次になってしまっています」(二年・男子)
 ■「親は国立大学一点張り。自分の学力がないのに押し付けられても仕方がありません。他人と比較されるのもいい気持ちがありません」(三年・女子)

表1. 高校生の悩み



学校への不満

明るい学校生活を送りたい

学校の成績や進路についての悩みが一番多かったのですが、このほかにも自分の容姿、男女交際などの悩みも多かったようです。

■「背が低いのが悩みかな。やっぱり女の子にモテたいしね」(一年・男子)

■「とにかくやせたいです。友達も同志で話をしてもやせたいという人が多いです」(二年・女子)
 ■「彼女が欲しいんだけど、

送りたい

打ち明けられなくて……。付き合っている友だちを見ているとうらやましいですね」(二年・男子)

また、学校に対する不満を話す生徒も多く、入学したときの期待が裏切られたという発言も目立ちました。

■「明るい学校生活を夢みてきたのに、あるのはテストや宿題で、先生から教わることは受験勉強のことばかり。もっと伸び伸びした教育を受けたいのです



▶受験戦争という言葉が定着してきましたが……

が……」(一年・女子)
 ■「就職が決まって一段落。ただ、一生自分の選んだ仕事を続けていけるかどうか不安です。もっと高校生活を楽しみたいかったですね」(三年・男子)
 ■「授業はもちろん全体的に活気がなくて、学校へ行くのが楽しくないです。部活動と勉強の両立と簡単に言うけれど、本人にとっても負担になっていることも分かってほしいと思います」(二年・女子)
 次のページでは、高校生の抱える悩みについてのどのように対応していけばいいのか取材してみました。

●へんなか……へ田さんが夜なべをして、手袋編んでくれた・木枯し吹いて冷たがるうて・せつせと編んだだよ / 懐しいものに「いろり」(へんなか)がある。



牧野仁志さん(入高2年 新聞部)

特集記事で

関心を高めたい

取材を通して感じたことは、なかなか本音をつかめなかったことでした。聞き出し方が難しく、悩みなんかないと答える人も多かったようです。

高校生なら勉強で悩むことは当たり前だと思いますが、自分の進路についてはただ漠然としか考えていない人が多いようです。真剣になって相談できる人がいないこともあるでしょうが、口にはあまり出さないけれど男女交際についても悩んでいる生徒が多いと思います。勉強ばかりで高校生活3年間が終わってしまふのはナンセンス。楽しい高校生活にしたいですから新聞部では進路調査や男女交際などについて今まで特集記事を通して感じました。今回の取材をまとめて特集し、関心を持ってもらいたいと考えています。

悩みの中で一番多かったのはやっぱり進路についてでした。進路といっても学年によってかなり違いがあります。一、二年はそれほど取り組みが真剣じゃなかったけれど、三年は切実でしたね。

それから、目立ったのが学校に対する不満でした。入善高校は結構テストとかが多くてつらいとか……。先生は勉強、勉強って言うけれど、生徒は勉強を押し付けに感じてるっていう意見がすごく多かったようです。

何に対しても引込み思案で、誰かにさせられているみたいなのが、じゃあどうしたらいいんだろうって聞くと、決まって返事がかえってこない。言えないからまた不満がたまる。このままじゃ人生で一番楽しいはずの高校生活が、何の意義もなく過ぎていってしまうのでは……。自分がやらなきゃ誰も助けてくれないのだから積極的な気持ちを持ちたいですね。

積極的な考えを持って



朴木浩美さん(入高2年 生徒会)

成績と進路

なぜ勉強するのか 目的を持つこと

「学校の成績」「進路の決定」「自分の性格」「男女交際」など、高校生が抱える悩みにはさまざまなものがあります。このような悩みについて、どのように対応していけばいいのか、入善高校の木村正嗣教頭先生に話を伺いました。

——テストの成績について悩む生徒が多いようですが、どのような教育が望まれているのでしょうか。

木村 さまざまな能力や性格を持った生徒が、学業成績だけで評価される教育、形だけの知識を与える教育では心豊かな感性あふれた人間に育たないのではないのでしょうか。小学校、中学校、高等学校と、トコロテン式に進学し、なんの目的もないままに与えられた知識を習得するだけでは楽しい高校生活は送れないですね。

——勉強は押しつけられていると考えている生徒が多いと思います。なぜ、勉強をするのか目的をはっきりさせることが大切なのではないでしょうか。

木村 自分自身のために、そして社会の発展のために、本当に必要な勉強とは何かを頭で考え、心で感じてください。自分の目で確かめ、自分の力で自分の道を開く努力をしてみてください。要は、挑戦していくファイトです。

性格と自分の個性を磨いてほしい

男女交際

——男女交際や性に対する悩みで、なかなか相談できずに困っている生徒もいるのでは。

木村 思春期は心情の葛藤に悩むことが多い時期です。自分の体に対する不安や悩みに陥ると、自分ひとりだけのようになり、思ひ込むことが多いものです。特に思春期や青年期は人生の大きな転換期なので、不安や悩みを持たない人はいないのです。この悩みから逃げないで真実を求めて対処したり、学習やクラブ活動

——容姿や性格など、他人の目を非常に気にするものもこの時期ではないでしょうか。

木村 人間の顔がそれぞれ違いうように容姿や性格も違います。肉体的にも精神的にも、発育の途中で他人と比較して心配することは愚かなことです。自分の個性を磨いて、自分らしさを高めていけば、すばらしい魅力が発揮できると思います。相手を



▶クラブ活動で汗を流すのも立派な社会勉強です。

人生の基礎勉強が高校生活

高校で習う事は、これからの社会生活を送る上での基礎勉強です。自分が高校で何のために勉強しているのか、どんな職業につきたいのかという目的を持ってさえいけば、勉強させられているという消極的な考えがなくなると思います。

最近の風潮として、経済的な豊かさだけを求めるあまり、人生をどのように生きていくかという大事な部分が見落されがちです。家庭や学校でもコミュニケーションが少なくなり、高校生のおかれる立場が一層悪くなつてきています。子どもはそれなりに一生懸命悩んでいることを親は理解していくべきでしょう。

高校生にとって大学受験や就職は大変な試験だと思えます。しかし、一生に一、二度は苦難にぶつかっていくことも大切で、受験に失敗したからといって、これからの人生が台無しになつていくわけではないし、テストの成績だけで人生が決まるものでもありません。

人間だれしも自尊心とコンプレックスの両面を兼ね備えています。自尊心だけが高くてもコンプレックスだけが強くてもいけません。人生は長く、広く、深いものです。自分だけの考えにとらわれることなく、さまざまな生き方を探し求めてほしいものです。高校生諸君の可能性に期待しています。



玉池流心さん
(上野・54歳)

入善町社会教育委員長
元入善高校PTA役員

思いやる心を備えた人間性あふれた人になってほしいです。

先生や親に対する不満も多
いと思います。個性を重視
する教育が必要だとよく言
われますが、どのようにし
ていけばいいと考えますか。

木村 青少年が大人と大きく違
う点は、豊かな未来の可能性を
持っているということではない
でしょうか。子どもに自分の未
来を考えさせることが大人の努
めです。子どもを横の一面から
だけ見ることなく、後へ回った
り前からあるいは上から見つめ
たりして、あらゆる角度から見
る大らかな視点が、親にも教師
にも問われているのではないで
しょうか。



子どもから 思い出深い 大人へ

高校生活に

高校生はちょうど子どもから大人へジャンプする準備・助走の時期です。社会では時には大人として、また、別の時には子どもとして扱われる高校生。中途半端な状況にあるため、だれもが多かれ少なかれ不安な悩みを持っていて考えられます。

「高校生生活って何だろう。みんなはどのように受け止められましたか。勉強に打ち込むのもよいし、クラブ活動に打ち込むのもよいでしょう。とにかく毎日を大切にして、楽しい高校生生活を送ってください。」

理想を追う自分と周りの現実との間にズレや対立を痛感することが多くなり、親への口ごたえや反抗がおこりがちになるのもこの時期。思い通りにならぬ周囲に絶望して、「何を言っても聞かれない」と感じることも多い。

「高校生生活って何だろう。みんなはどのように受け止められましたか。勉強に打ち込むのもよいし、クラブ活動に打ち込むのもよいでしょう。とにかく毎日を大切にして、楽しい高校生生活を送ってください。」

◆県内の主な相談機関

■PTA教育無料相談 武村福祉会館2階 ☎72-0009

生活や進路、学習のことについて先生がたが相談に応じています。気軽にお越しください。

■富山県総合教育センター・教育相談部
富山市舟橋北町7-1 ☎(0764)33-8818

学習生活や登校拒否、非行・いじめの問題など生徒の学校・家庭生活の全般にわたって、本人、保護者、教師からの相談に応じています。電話や手紙でも結構です。

■富山児童相談所
富山市長江140-5 ☎(0764)23-4000

児童生徒や家庭の悩みについて、医学的、心理的、教育上の判定をしたり、相談や指導に応じています。

■富山県精神衛生センター
富山市大手町1-2 ☎(0764)21-1511

専任の精神科医やソーシャル・ワーカーが、ノイローゼや神経症などから登校拒否になっている生徒の相談や指導に応じています。

■ヤングテレホンコーナー
富山市新桜町4-10 ☎(0764)41-5057

県警本部の婦人相談員が、生徒の友人関係や勉強、仕事、家庭での悩みごとなどについて、電話で相談に応じています。

●もんだくる……強く揉み、ぐしゃぐしゃにすること。携帯用のカイロは、外出するときに便利。封を切り、もんだくる、ほどこに入れる。

まず自己紹介してください。滝沢 高岡市出身で立山町に住んでから3年経ちました。小さいころから音楽が好きで、シンセサイザーを本格的に始めたのは大学3年生のころ。とても可能性を秘めた楽器だと思っています。テレビやラジオのBGMを製作する仕事がほとんどで、屋外へ出て演奏するのは年に5、6回程度です。

そとから見たにゆうぜん

11月12日に開かれた入善町ふるさとふれあい川まつり。このイベントでシンセサイザーを演奏していた滝沢卓さん(立山町在住・30歳)に話を伺いました。



← 砂浜が近くなりました → 芦崎海岸に昇降路新設

芦崎海岸にユニークな昇降路が新設され、付近の人たちに好評です。これまではハシゴを使用していましたが、これで海岸へは子どもでも気軽に降りることができるようになりました。イルカやカメ、魚の絵も描いてあり、子どもたちに親しまれるのではないのでしょうか。来年にはもう一つ昇降路が新設される予定です。

← 本物の花よりもあでやか → 町民会館でアートフラワー展

「アートフラワーの持つ魅力と繊細さを知ってもらおう」と10月28日から4日間、町民会館ギャラリーでアートフラワー展が開催されました。訪れた人たちは本物の花と間違えるくらい手の込んだ作品にびっくり。結婚式のブーケも展示されており、あでやかな雰囲気が会場に漂っていました。



昭和51年に設立され、地域に密着した幅広い分野にわたって調査研究を続けている黒部川扇状地地域社会研究所(所長・籠瀬良明)が、このほど北日本新聞地域社会賞を受賞しました。海岸浸食、農工一体化などの調査とシンポジウム、セミナーで広く住民のみなさんに研究成果を公開したことが高く評価されたものです。

黒部川扇状地地域社会研究所 ← 地域社会に貢献

かめら・とびくす カメラ・トビックス かめら・とびくす

住所	氏名	年齢	世帯主
西入膳(12区)中	舟木真二	17	昭吾
墓ノ木	秋山文子	57	本齊
小杉	橋本キヨ	75	一齊
野中	西島林作	80	トキエ

おくやみ (敬称略)



住所	氏名	年齢	続柄	名前
神林	永原隆俊	二男	続柄	龍徳
上野	宮澤茂樹	二男	続柄	純平
入膳(15区)	柚木 栄	三女	続柄	光
東 又	笹島邦芳	二女	続柄	亜希子
荒 又	島 正彦	長男	続柄	佑樹
五 又	沼田明男	長男	続柄	宏明
新 又	米山一男	長男	続柄	理明
上野	花井広明	二男	続柄	秀成
入膳(15区)	山下幸一	二男	続柄	陽平
新 又	渡辺 貢	長女	続柄	愛未
横山	野口光博	長女	続柄	真里
入膳(13区)	新村晴之	二女	続柄	沙織
福島	高島長治	長男	続柄	佑大
上野	鍋谷 明	長女	続柄	美奈
青木	吉澤正樹	二女	続柄	千郷
下 又	水野久直	長女	続柄	麻由
春 又	岡元浩一	長女	続柄	千恵
舟見	高村真次	二男	続柄	長毅
入膳(7区)	七澤喜代志	長女	続柄	あさみ
板屋	南保陽一	三女	続柄	光

あかちゃん (敬称略)



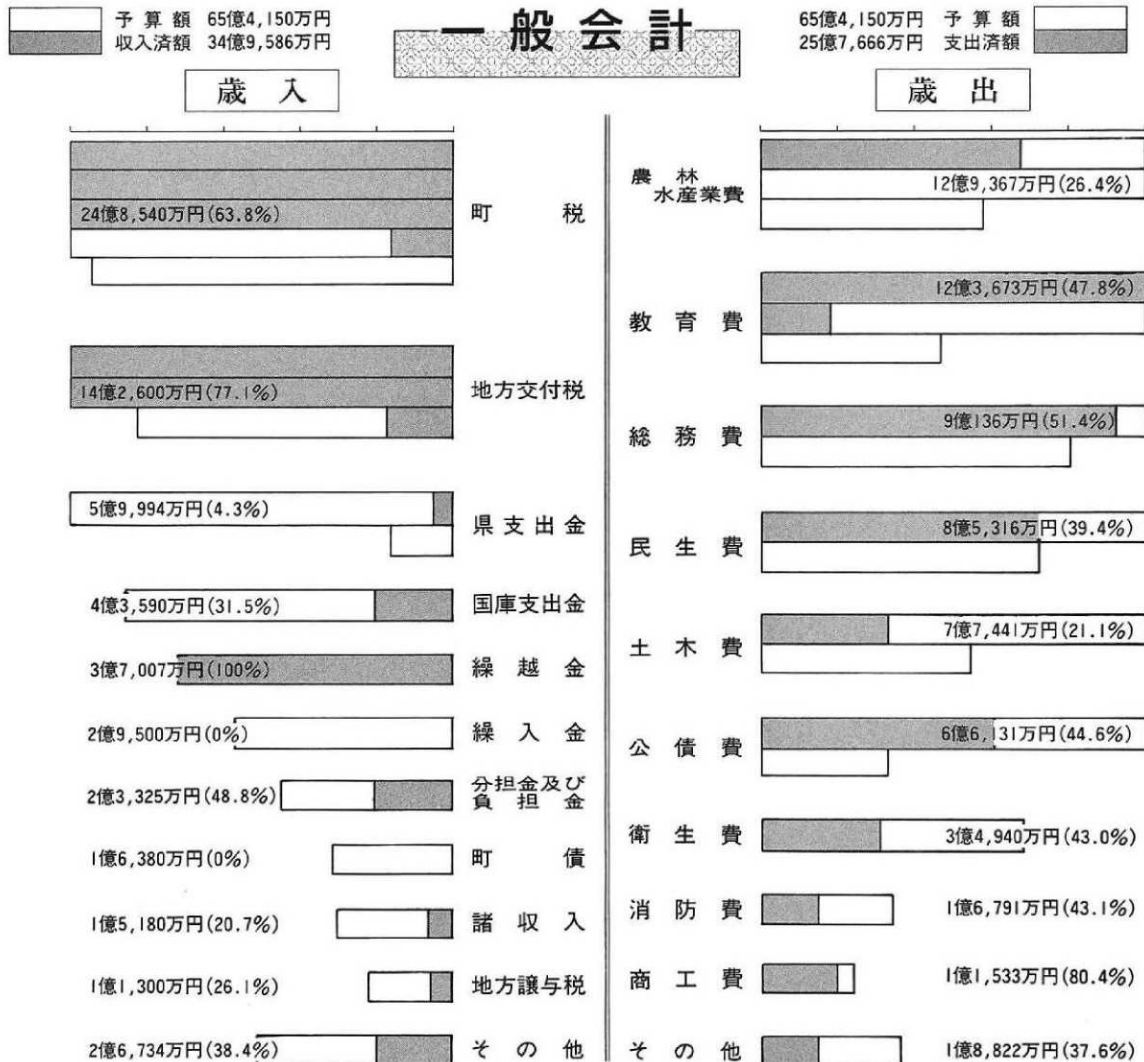
●よつたる……1人、2人、3人、よつたる。四人集まるとマージャンが楽しい。コタツでジャラジャラ。三人ならば花札がある。

「町の台所」の報告

昭和63年度の財政状況

人口 30,115人
世帯数 7,780世帯
面積 71.58km²
(昭和63年9月30日現在)

入善町の財政状況について、1年に2回、町民のみなさんにお知らせすることが、条例で定められています。今回は、昭和63年9月30日現在における63年度予算の執行のあらましをお知らせします。



※62年度繰越額を含む(グラフの%は、予算額に対する執行率)

特別会計

		国民健康保険	簡易水道	育英奨学資金	分譲宅地	老人保健医療
歳入	予算額	14億5,936万円	2,256万円	303万円	120万円	20億9,323万円
	収入額	6億1,673万円	1,192万円	78万円	40万円	8億6,287万円
	執行率	42.3%	52.8%	25.7%	33.3%	41.2%
歳出	予算額	14億5,936万円	2,256万円	303万円	120万円	20億9,323万円
	支出額	4億8,505万円	741万円	85万円	0万円	8億3,436万円
	執行率	33.2%	32.8%	28.1%	0%	39.9%

❁ひびり……ひび。寒くなると、しもやけやひびに悩まされる。クリームを塗ったりしてお肌を守ろう。ひび+り。なぜ、「り」を加えるのが不思議。

町職員の給与状況

町民のみなさんのご理解を深めていただくため、職員の給与の支給状況を公表します。

人件費の状況（普通会計決算）

単位千円

区分	人口	歳出額	人件費	人件費率
63年度	(平成元年3.31現在) 30,223人	6,645,822	1,831,048	27.6%

▶人件費には、一般職員に支給される給与、退職手当及び町長、議員等の特別職に支給される給与、報酬等を含みます。

職員給与の状況（元年度普通会計予算）

単位千円

区分	給与				一人当り 給与費	
	給料	職員手当	期末勤勉手当	計		
職員数	320人	894,498	98,001	369,208	1,361,707	4,255

職員の平均給料月額及び平均年齢の状況

平成元4.1現在

区分	一般行政職	
	平均給料月額	平均年齢
国	246,475円	39歳3か月
県	269,097	39歳5か月
入善町	246,552	40歳5か月

職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況

平成元.4.1現在 一般行政職：単位円

区分	経験年数			
	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年
大学卒	217,100	272,700	302,600	364,800
短大卒	166,800	220,000	265,400	307,000
高校卒	—	203,800	259,700	300,600

▶初任給は、大学卒121,100円、短大卒108,800円、高校卒102,200円です。

一般行政職の等級別職員数の状況

元.4.1現在

区分	8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級	計
標準的な職内容	課長	課長	課長	係長	係長	主任	主任	主任	—
		主幹	係長	係長	主任	主任	主任	主任	
職員数	7人	12人	18人	50人	47人	37人	26人	6人	203人
構成比	3.4%	5.9%	8.9%	24.6%	23.2%	18.2%	12.8%	3.0%	100%

職員手当の状況

元.4.1現在

	期末・勤勉手当		退職手当		
	期末	勤勉	自己都合	勸奨	
6月期	1.4月分	0.5月分	最高限度額	60.0月分	62.7月分
12月期	1.9月分	0.6月分	勤続20年	21.0	34.65
3月期	0.5月分	—	勤続30年	41.25	54.45
計	3.8月分	1.1月分	勤続35年	47.5	62.7

▶特別職の報酬等の月額、町長69万円、助役55万円、収入役50万円、教育長50万円。議会議員では、議長27.5万円、副議長23.5万円、議員21.5万円。期末手当は年間4.75か月分となっています。

▶一般行政職とは、事務系職員と保育所の保母などです。

スポーツ活動に貢献

富山県スポーツ奨励賞

平成元年度富山県スポーツ奨励賞を受賞したみなさんです。この賞は、スポーツクラブや地域・職場等で5年以上にわたり、顕著な活動や世話をしているかたがたに授与されます。これからも各種目の普及や技術向上に頑張ってください。

(敬称略)

五十里雅宏(27歳・東五十里)	バスケット
亀田 真之(48歳・入善15区)	ゴルフ
曳田 明男(35歳・入善6区)	卓球
島先 誠(36歳・道古)	スマッシュテニス
川畑 良宗(28歳・青島)	テニス
河村 吉忠(55歳・幸町)	テニス
鈴木 昌正(41歳・吉原1区)	野球
福沢 忠俊(38歳・福島)	野球
沢飯 祐広(33歳・福島)	小摺戸体協
秋元 昭吉(53歳・一宿)	小摺戸体協
川原 満秋(39歳・青木)	青木体協
福島 忠(41歳・入善10区)	入善体協
田又 早苗(38歳・荒又)	桐山体協
後藤 博子(42歳・下山)	黒東ミニバス
鈴木千恵子(39歳・東町住宅)	ビーチバレー
中山 正平(73歳・墓ノ木)	歩走会
池原 進(67歳・藤原)	ウォークベース
長谷 友春(76歳・浦山新)	ゲートボール
平松 武(71歳・青島)	ゲートボール
小路松次郎(76歳・小摺戸2区)	ゲートボール
松原 富雄(75歳・青木)	青木体協



あたたかいご芳志に感謝いたします
入善町善意銀行(敬称略)

◆社会福祉事業資金へ

魚津市	大愛和歌子	50,000	国際プロミスト富山一東の認証式記念として
入膳	亀田 益洋	50,000	亡父廣一の供養として
	湧水公園の投銭	1,592	
入膳	入善町農業協同組合	50,000	平成元年度農業祭売上金の一部として
入膳	匿名	20,000	9月～10月分

◆物品の部

入膳	入善地区婦人会	タオル 260本	福祉施設
----	---------	-------------	------

☛こきんと……きっぱり。全部。なかなか止められないのがタバコ。食後の一腹がうまい。食事中に横で、タバコを吸われると、味も香りも無くなる。「こきんと止めれ」

長年の実績に感謝して

29名が町政功労者に

長年、町政の発展に貢献してこられた方々を表彰するため、町では初の町政功労者表彰式を11月1日に行いました。各分野で活躍された受賞者は29名。男性が26名、女性3名で最年少は50歳の林勝昭さん、最年長は86歳の杉田作石工門さんです。これからの活躍がますます期待されます。
(敬称略)

- | | | | | | |
|---|--|---|--|--|-------------|
| 
元交通指導員
山崎 芳雄
(青木・77歳) | 交通安全

元町教育委員
脇坂 悌治
(舟見・61歳) | 
入善17区区长
笹島 信一
(入膳・65歳) | 
元収入役
宮腰 由則
(墓ノ木・70歳) | 
元助役
寺崎 清作
(新屋・80歳) | 地方自治 |
| 
町医
中川 正明
(柗山・74歳) | 環境保健

民生児童委員
浦田美津子
(芦崎・66歳) | 
郡母子福祉会長
金森 クサ
(下山・75歳) | 
町民生委員協議会長
杉澤 吉郎
(目川・76歳) | 
元交通指導員
竹内 與吉
(入膳・77歳) | 社会福祉 |
| 
元町酪農協組合長
大田 元長
(柗山新・76歳) | 産業経済

町消防団副団長
長田 知久
(東狐・64歳) | 
町消防団副団長
戸出 元雄
(舟見・64歳) | 
町消防団団長
上田 義信
(入膳・68歳) | 
公園維持管理員
嶋田 久二
(上野・83歳) | 消防防災 |
| 
郡母子保健推協会長
稲村 光枝
(下山・64歳) | 
町医
永井欣一郎
(新屋・70歳) | | | | |

社会教育の 功労者を表彰

第11回町社会教育大会

昭和63年度の町社会教育大会が11月19日町民会館で開催された。次のかたがたや団体が表彰されました。
(敬称略)

個人

中田潔志(入善)、愛場一立・島孝男(上原)、松田太吉・泉重信(青木)、篇原ハナ・嶋田久一(飯野)、後藤博子(新屋)、長島光雄(柗山)、杉本善治(横山)、金山聡志(舟見)、舟本由和(野中)

団体

八波会(代表・浜田みね子)

スポーツの 普及に貢献

昭和63年度スポーツ功労者

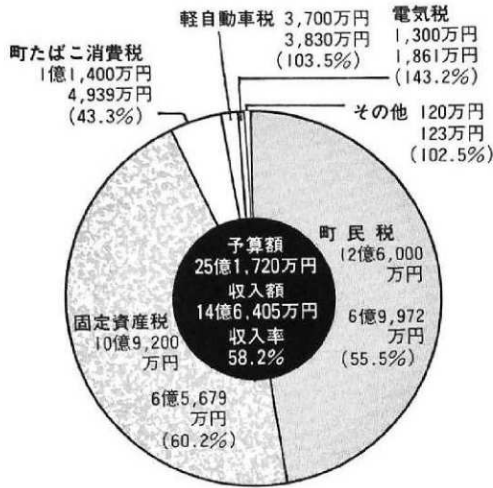
10月16日にスポーツ功労者として表彰を受けたみなさんです。
(敬称略)

表彰状受賞者の部

宝田雄幸・島田昭興・曳田利光・福沢純夫(陸上協会)、小林幸夫(舟見体協)、小山正高(スキー協会)、飯野体協駅伝

☑けやす……消す。冬になると暖房器を使う。くれぐれも火災を起さぬように。ストーブ・コタツの火をけやしてから寝よう。「その火、その時、すぐ始末」

町税の内訳

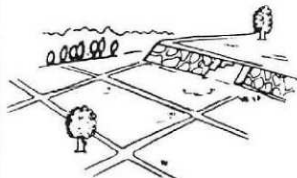


町税の負担状況

●町民1人当り 83,409円



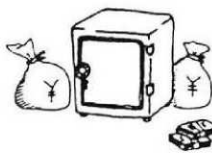
町有財産の状況



土地 2,301,672㎡



建物 99,101㎡



基金 139,188万円



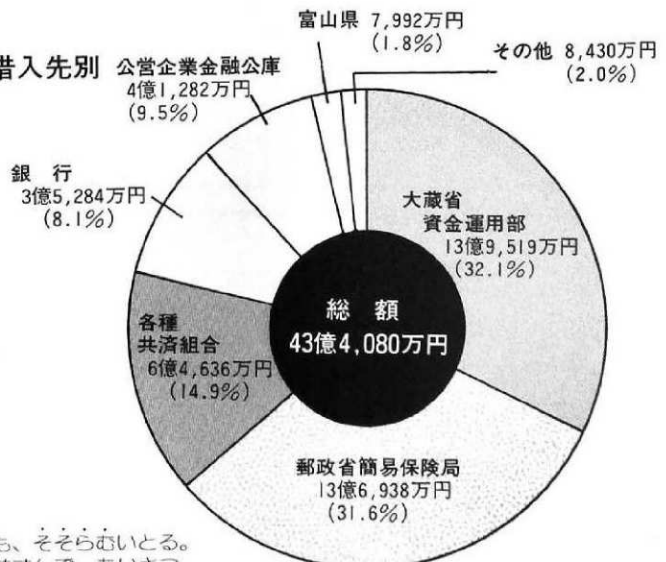
有価証券 12万円
出資金 1,370万円

町債の現在高

(1) 目的別

区分	金額	構成比	区分	金額	構成比
一般会計	43 ^億 580 ^{万円}	99.2%	都市計画債	2 ^億 2,707 ^{万円}	5.2%
総務管理債	3,434	0.8	町営住宅建設事業債	3 ^億 686	7.1
社会福祉債	1 ^億 1,095	2.6	消防債	5,828	1.3
保育所建設債	1 ^億 2,909	3.0	学校教育債	14 ^億 2,117	32.7
保健衛生債	130	0.03	社会教育債	7 ^億 7,633	17.9
労働債	7,440	1.7	災害復旧事業債	5,369	1.2
農村総合整備事業債	9,452	2.2			
農林水産業債	3 ^億 4,137	7.9	特別会計	3,500	0.8
商工業債	7,190	1.7	簡易水道	3,500	0.8
道路橋梁債	6 ^億 452	13.9	合計	43 ^億 4,080 ^{万円}	100.0%

(2) 借入先別



◆そそらむく……素知らぬふりをする。道で会っても、そそらむいとる。あいさつは大切なこと。自分からすすんで、あいさつすれば、相手も必ず答えてくれる。

私たちの広場

ご意見などを
お寄せください

この広場は――

- ご意見 ●イラストやマンガ ●グループの紹介 ●私の趣味……などに利用したいと考えています。

紙上匿名は自由ですが、原稿には必ず住所・氏名を明記してください。

広報担当係 ☎72-1100
内線 203

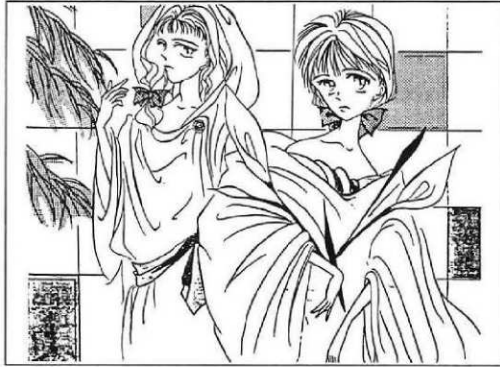


イラスト
池原千賀子さん
(入善8区・15歳)

「とても驚きました。この感激を忘れることなくこれからも努力していきたいですね。」

11月14日、富山県農協中央会とNHK富山放送局が主催する日本農業賞に県代表として米山さんが選ばれました。入善町では青木地区花弁球根組合、田中生産組合、ジャンボスイカ生産組合が今まで表彰を受けていますが、個人の受賞は初めてです。

米山さんは高校卒業と同時に農業に取り組み、専業農家として30年のキャリアを誇ります。10数年前から耕地面積を拡大し



米山 誠一さん
(新屋・49歳)

日本農業賞の県代表に



▲「地区の人たちのバックアップがあったからこそ……」とうれしそうな米山さん。

現在は受託を含めて経営耕作面積は17haにもなります。もちろん入善町の農家ではトップ。

「米の自由化や転作問題で日本の農業は厳しさをますます感じ、コストを低く維持するには大型機械導入で効率アップを図ることが大切です。3年前からは穀を堆肥にして土地がやせないようにしています」と話す米山さん。

昭和51年には富山県認定の青少年指導農家になり、農業を志す青少年や中国、スリランカなどの海外研修生を受け入れて研修を行っています。「何といっても若い人たちに農業をしてもうことが肝心。本当に魅力のある農業にしていくために、いろんな機会を通して農業の重要性を話していきたいと思っています」と目を輝かせます。

いい味いきいき

四季を通じてふる里の味
魚津屋の手延めんを…

魚津屋製めん

富山県下新川郡入善町5455-1
TEL 72-0036

ふるさとのおみやげに

入善銘菓の決定版

本舗 御菓子司 **はせ川**

おいしいお菓子です。

TEL72-0161 東町信号前

◆こうこう……漬物。沢庵こうこう。大根を乾かしてしなびれさせ、寒くなってからこんかと塩で漬ける。漬物上手は奥様の第一条件。世の中変わって、こうこうの石まで売っている。

グループ登場

オールシーズンが強みです

名水クラブ

「キユツ、キユツ」とシューズの音をたて、シャトルと呼ばれる白い羽をめぐけて軽快なフットワークが続きます。スマッシュが決まれば「ワー」と歓声。



▲名水のように清くみずみずしい皆さん。

水曜日の夜、勤労青少年ホームの体育室に集ってさわやかな汗を流します。平均年齢は35歳ですが、「全員、20歳のつもり」で頑張っています。

「初めたばかりの頃は1ヶ月で体重が3キロも減りました」と部長の野坂密男さん（下飯野・47歳）が話すように、素早い動作が要求されるこのスポーツは見た目よりかなりハード。スマッシュを打ったときのシャトルの速さは時速250キロ以上にもなり、1試合で1個のシャトルが使い物にならなくなるとか。「夏の暑い日には、練習が終わると、名水（ビール）を求めて酒屋さんへ直行するんですよ」と笑って話す皆さん。

目下のチームの目標は、宿敵「入善クラブ」を破って町の大会に優勝すること。そして、平均年齢を下げるのだそう。「若い人の加入をお待ちしています。特に女性のかた、2・3キロのダイエットならお任せください」と太鼓判を押します。



草 克治 さん
(古黒部3区・54歳)

熟年ランナー 記録更新中

「いつまで走られるか分かりませんが、まだまだ若いもんに負けないつもりで頑張ろうと思っています。」

11月5日、晴天の下で行われた入善町駅伝競走大会。草さんは横山体協チームの選手として出場し、東狐・福島間3.5kmを12分40秒で力走、見事区間2位の成績を収めました。54歳という年齢にもかかわらずまったく驚きです。周りでは草さんのこ



▲リズムカルに、そして力強い走法はまだまだ健在。

とを「怪物」呼ばわりする声も…。草さんは、今年で17回を数える町駅伝大会に連続出場のほか、入善・魚津駅伝や昨年の北陸自動車道ハイウェイマラソンなどにも出場。地区運動会ではここ十数年、優勝の座を他に譲ったことがありません。

「速さの秘密は」という質問に「特別な練習はほとんどしていません。心臓が大きいのでしょいかね」と笑って答えるだけ。ただ、4km離れた職場へ毎日自転車あるいは徒歩で通勤していることが、どうやら脚力アップの秘訣のようです。

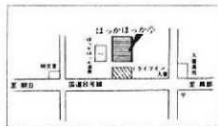
駅伝選手では、舟見体協で3歳年下の山本良治さんがライバルとか。「年も年なので、家族の者は私の体を心配してませんが大丈夫。これからも走り続けます」と力強い返事。

忘・新年会

大・小宴会 予約受付中!

飲んで 食べて お風呂でのんびり

会席料理・宴会
ほっかほっか亭
TEL 74-0543

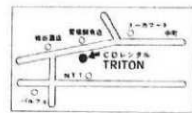


CDレンタル トリトン

入善町入膳

TEL 72-0594

営業時間AM10:00~PM10:00



◆だんだんよくなるほっけのたいこ……事が順調に運ぶ様子のたとえ。「法華の太鼓は気持ちが高まると、良く鳴る」に掛けたことは。12月は平成元年最後の月。良くなってるか!

今月の さわやかさん

No.60



池原志津香 さん

富山県漁船
保健組合勤務
(芦崎・22歳)

富山女子短大を卒業、就職して2年目になりました。漁業に携わっている人たちの保険引受業務を担当しています。祖父も父も漁師なので、この仕事はとっても身近に感じるんです。これからの漁業はますます厳しくなる一方ですが、持ち前の明るさでみなさんと接していきたいですね。これからは漁船の構造などについても勉強していきたいと思っています。

趣味は短大時代から始めた編み物。セーター、スカート、ニットスーツなどを編みましたが、今年はカーディガンに挑戦するつもりです。6月からは水泳も始めました。社会人になるとなかなか体を動かす機会がなかったので、気分をリフレッシュするには最高。母とよく行きますよ。

自分の行動に信念を持っている人が理想の男性。お兄さんみたいに甘えたり、頼ったりできる人がいいですね。

「人來れば人を拒まず冬籠り」
いよいよ野も山も真白な雪に包まれる季節を迎えました。終日こたつに入って、テレビの子守りという人も多くなりそうですね。

最近、図書館では、思い思いの椅子に腰かけ、ゆっくりと新聞や本に見入っておられる高齢者の方がたを見かけます。なかには「暖かいし、静かだし、好きな本が読めるし、ここが一番いい」と、楽しそうに話される方もあります。

▼ふるさとの本コーナー
入善町在住の方がたの句集や詩集、随筆、富山県及び入善町についで書かれた本があります。舟見在住の高邑ひさ子さんが著された夫の看病日記「限られた命の日々」や、味わい深い文章と挿し絵が定評の「町長日記」も、さっそく、このコーナーの仲間入りをしています。

▼水と緑と土のコーナー
この地球のかけがえのない財産としてようやく見直されてきた水と緑と土。ことに、黒部川を母として、世界でもまれな扇状地にある入善町は、これら三つの宝を豊富に持っています。入善町を21世紀に羽ばたかせるために、みんながこれらの活用を考えてみませんか。

▼編集室
▼左手薬指によくやく指輪をはめることができました。独身時代と違った責任を感じるようになって、少し生活パターンも変わってきたようです。

▼結婚の話をしていて必ず聞かれたのが新婚旅行の行先。仕事の都合もあって「野尻湖プリンスホテルへ行く」と答えても、だれも信じてくれませんでした。海外へ行くのが当り前になってきているからでしょうか……。

▼式の打合せ、招待状の発送、パンフレットの作成などの準備をしていて、いつの間にか当日を迎えたというのが本音。とてもロマンチックな雰囲気を感じていました。

▼プロ野球の選手が結婚すると次の年はいい成績が残せないというジンクスがあるとか。広報入善も二の舞いを踏まないようにしたいと思っていますこの頃です。

▼式の前はいい成績が残せないというジンクスがあるとか。広報入善も二の舞いを踏まないようにしたいと思っていますこの頃です。

あなたと
図書館
新設された
2つのコーナー

72-1100
内線 162
休館日は火曜・月
末、祝日の翌日



このコーナーには、過日來町された富山和子さんの著書「水の旅」川は生きている、「森は生きている」や、深井三郎著「とやまの水」などがあります。



今月の人口	
人口	30,118(+ 3)
男	14,426(+ 9)
女	15,692(- 6)
世帯数	7,787(+ 7)
()内は前月比	
10月末日現在住民登録	